

本物にふれる・本物から学ぶ・本物を感じる

校長 伊藤 登美子

令和5年度がスタートして、早や3か月が過ぎようとしています。

この3年間は新型コロナウイルス感染症対策として様々に制限しながら展開してきた教育活動ですが、ようやく少しずつコロナ前と同様に、地域に出掛け、地域の方と直接ふれあいながら、交流や地域連携の活動を実施しております。

5月から6月にかけて、各学部の修学旅行が実施されました。これまでは、行き先を県内としておりましたが、今年度は、小学部が岩手県、中学部が岩手・宮城方面、高等部が東京・千葉方面へ出掛けました。秋田との違いを感じたり、仲間との絆を深めたり、それぞれが思い出に残る旅行となったようです。笑顔満面の表情で「楽しかったぁ」という第一声を聞くことができたことが何よりでした。



【松島遊覧船観光】

また、この3か月の間に、陶芸の先生や和太鼓の先生、民謡の先生、ビルメンテナンス会社の業務部長様、わらび座の皆さんなど、たくさんの外部講師の方々にご協力いただきながら、様々な体験的学習を実施することができました。コロナ禍の3年間にICT機器の活用も進み、オンラインでの交流など間接的に地域のモノ・ヒト・コトにふれる機会も設定しましたが、やはり直接本物から学ぶ魅力には敵わないということを、子どもたちの真剣な眼差しや生き生きとしたとした表情から感じます。

今年度の本校の教育目標は「地域とつながり、一人一人が自分らしく輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成」としています。地域の皆様、関係機関の皆様と協働しながら、子どもたち一人一人が主体的に学習活動に取り組み、その中で自分らしく輝く姿を引き出していきたいと考えております。今年度も天王みどり学園の教育活動にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。